

しんろだより

No. 4 令和6年12月25日発行
京都府立南山城支援学校
進路指導部

12月6日（金）に中学部の製品お渡し会がありました。日々の授業で作ったかばんやコースターを保護者の方や先生にプレゼントしました。商品の説明や手渡しすることに加え、作っている様子の実演をしている生徒もいました。



◎今回の製品お渡し会は卒業後どのようにつながっていくのでしょうか？

①自分の役割に責任をもって取り組むこと

卒業後の進路先では個々ができる仕事を任されます。自分の担当の仕事や作業工程をきっちり行うことで、1つの大きなものや成果を生み出すことができます。

②対人面におけるコミュニケーション

どんな仕事でも必ず人と関わります。あいさつや言葉遣いに加え、笑顔や相づち、身振り手振りも重要なポイントです。また、報・連・相といったやりとりも必要不可欠です。

③自分の力でやりきること

困ったときは周りの人が助けてくれます。だからといって毎回誰かに頼るのではなく、できることを自分ですることや、頑張って1人でやろうとする意識が必要です。

他にもポイントはありますが、上記3点については今回の製品お渡し会で生徒全員から感じ取ることができました。授業中はもちろんですが、小学部の時から日常的に行っている当番活動のような取組も、このような力につながってきていると言えます。卒業後に必要な力は今やっていることの延長です。今できていることに自信をもって、引き続き取り組んでいきましょう。